

あとがき

冬になると枯れ枝にやってくるさまざまな鳥を見るのが楽しい。この時期、わが家の庭には、メジロ、シジュウカラなど色とりどりの鳥が群れをなして飛来する。夏は葉が茂っていて見えないが、落葉した枝から枝に飛び移りながら、虫を食べている姿がよく見える。

今から約 30 年前、チャンスがあつて Washington DC で開催された Federation に参加した。学会場のホテルの中庭で、親しい内科の教授としゃべっていたときのことである。突然、木の枝に止まっている青い鳥を指しながら、「ヒロ、あれがブルーージェイだよ」と教えてくれた。そのあと、彼は延々とバードウォッチの醍醐味をしゃべりだしたのである。バードウォッチャーはひそかに、しかも思いがけぬところにいるのである。その後、Cardiff で、「Shell(石油の Shell です)guide to the birds of Britain and Ireland」というカラーイラスト付きのバードウォッチャーの手引きをたまたま見つけた。暇に任せ、Cardiff のあちこちを歩いてバードウォッチをした。日本に帰ってきて、同じようなガイドブックを見つけ、バードウォッチ用の双眼鏡も買った。専門家についてやっているわけではないので、いわゆる differential diagnosis のコツはわからないが、それでも本を見ながら庭や公園に飛んでくる鳥を眺めていると楽しい。ただ、このバードウォッチャーはバードウォッチャーの風上にも置けぬ点が二つある。一つは大のハト嫌いなのである。*Cryptococcus* を持っている点と、個人的には家の周辺に住み着いて夜昼なくぼっぼ、ぼっぼと鳴く公害に憤慨(糞害)したことがあるのである。もう一つは、冬の鴨鍋が大好きで、加茂川あたりの青首(まがも)を見ると涎が出てくるのである。

さて、2～3 週間前から時々、朝 9 時頃、茶色の縞模様の 17 cm ぐらいの鳥が一羽、庭にやってきてえさをついばんでいる。お尻をピョンとあげて、ツツツと歩いて、えさをついばみ、またピョンとお尻をあげて、同じ動作を繰り返すのである。ガイドブックで絵合わせをしても、よくわからないのである。皮膚病の絵合わせより難しい。誰か教えてください。(瀧川 雅浩)

臨床皮膚科 2008 年増刊号 第 62 巻 第 5 号

2008 年 4 月 10 日発行 (毎月 1 回 1 日発行)

本号特別定価 7,140 円(本体 6,800 円+税 5%)

普通号定価 2,835 円(本体 2,700 円+税 5%)

(2008 年年ぎめ予約購読料 39,930 円)
増刊号を含む 13 冊・配送料弊社負担)

(担当：川村・天野)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5715

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail: rinhifu@igaku-shoin.co.jp

振替口座 00170-9-96693

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- JICLS < 日本著作出版権管理システム委託出版物 >
- 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。